

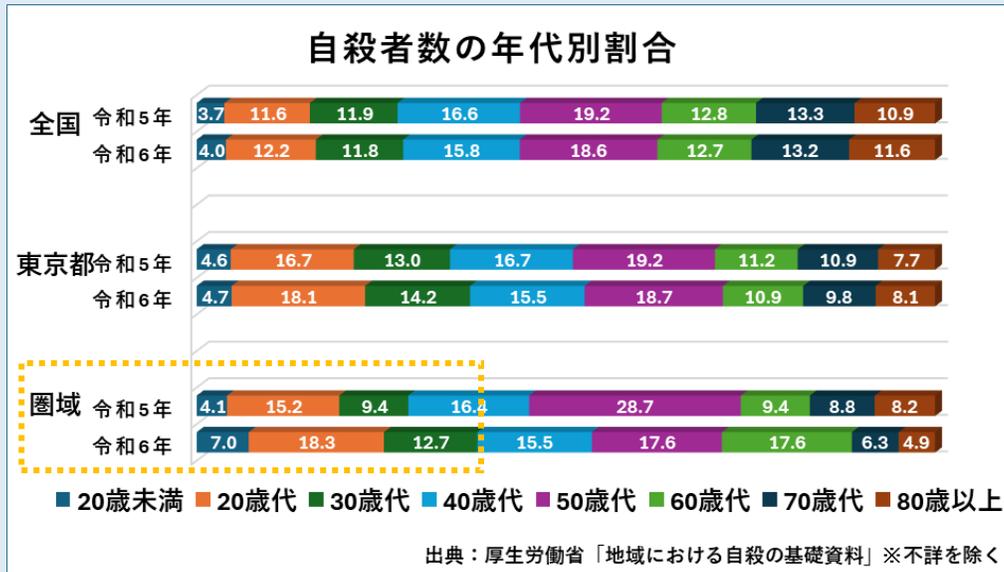
令和7年度 自殺対策

令和7年北多摩南部保健医療圏自殺対策担当者連絡会

開催日 令和7年7月23日

背景

- 令和6年の30歳代以下の年代別自殺者数割合は、全国では横ばいである一方、東京都、特に圏域では増加傾向
 - 令和7年の自殺対策基本法改正により、子どもの自殺対策推進のための体制整備が規定されたことから、母子保健や教育機関等の関係行政機関とこれまで以上の強固な連携が必要
- ▶連絡会において、連携の重要性を認識し、庁内連携構築の実例を学ぶことで圏域全体での自殺対策を推進する。特に、子ども・若者に対する効果的な支援の重要性を共有し、実践につなげることを目指す。



参加者 合計23名

各市自殺対策主管課
多摩府中保健所市町村連携課・保健対策課



内容

- 圏域における自殺の既遂・未遂状況の把握
地域の傾向（子ども若者等）を把握することで課題を共有し、圏域全体で取り組んでいくことの重要性を認識
- 先駆的な庁内連携（府中市より）
 - 現在の**庁内連携の要**としての『自殺対策関係機関連絡会』設置
庁内27課36係と保健所で構成し、未遂者リスト進行管理と事例検討を実施
 - 体制構築のポイント**
平成23年度から自殺対策への取組を開始
平成25～27年度、現状把握のため、庁内・医療機関・消防へ未遂者や既遂者の聞き取りを実施し、事例から把握した課題を体制へ反映
▶現場発の連携体制構築事例を学ぶ機会となり、今後の取組に資する知見を得た。
- 各市における取組を共有
新たな取組や力を入れていること等を中心に課題や工夫した点等の意見交換・共有を図った。

令和7年度 自殺対策

各市において力を入れている取組

武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市
<ul style="list-style-type: none"> ◆「ユースクリニック」若者が心や体の悩みに関する保健師相談試行実施 ◆市HP上の自殺対策関連情報整理 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民・職員向けゲートキーパー養成講座の実施 ◆相談先をまとめたリーフレットの作成・配布 ◆『自殺対策事業』※1 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども・若者への啓発（課題やニーズ把握のためのヒアリング） ◆ゲートキーパー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2次計画の周知啓発 ◆『調布市自殺未遂者支援モデル事業』※2 	<ul style="list-style-type: none"> ◆庁外連絡会設置の推進 ◆NPO法人ライフリンクとの「自殺対策SNS等相談事業」協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> ◆教職員・子どもに関わる支援者向けゲートキーパー研修の開催等、子ども・若者対策

保健所による後方支援（市町村連携課・保健対策課）

三鷹市 『自殺対策事業』※1

取組：外部から助言者を招き、未遂者支援の事例検討を実施。これまでの取組を共有分析し、今後の方向性を検討している。庁内他部署に積極的に声掛けし、参加を広げている。

▶未遂者支援を行う担当者のサポートする貴重な機会となっている。市における庁内連携の構築への足がかりとなっている。

調布市 『調布市自殺未遂者支援モデル事業』※2

取組：モデル事業として、協力医療機関に自殺未遂により救急搬送された方への即時支援を試行。救急医療から生活への移行支援を行い再企図防止に取り組む。

▶圏域における救急医療と地域との連携の第一歩であり、また、市庁内外の関係機関との連携推進の機会ともなっている。

特別支援学校に対する取組

目的：自殺対策普及啓発ツール(令和4年度作成)をもとに、学校・地域支援機関・市・保健所が協働して、卒業後の切れ目のない支援体制を目指す。

都立府中げやきの森学園

『こころの健康教育』

開催日：令和7年12月10日

対象：知的障害部門 高等部3年生

ツールを使用した健康教育に地域関係者が同席。生徒と交流し、卒業後の相談先の紹介を実施。

参加機関：4市6機関と保健所

都立武蔵台学園

卒業後のメンタルヘルスの課題を共有し、ツールを紹介。げやきの森学園の健康教育の見学へと繋がった。

普及啓発ツール

『こころからだのモヤモヤってなんだろう？』

QRはコチラ➡



カールルん